

令和7年度上牧町総合計画等外部検証委員会（第3回）会議録

【日時】令和8年1月26日（月）14時00分～16時30分

【出席者】（50音順）

（委員：10名）

中山委員長、鶴谷副委員長、植村委員、大西委員、尾崎委員、辻本委員、野田委員、服部委員、東谷委員、三宅委員

（事務局：総務部企画財政課）

中川部長、中本課長、土井課長補佐、高野係長、高見主事

【欠席者】3名（氏原委員、呉羽委員、中林委員）

【傍聴人】0名

【議事概要】

2 (I) 第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について

○健康推進課

【1-1-1.⑤多様な学びの場における支援】

担当課：＜「①ほほ笑み教室の開催」について説明＞

東谷委員：どのような方法で広報を行っているのか。

担当課：検診等を通じて通ってもらったほうがいいと思ったかたに声をかけたり、広報等を見て連絡があったかたに対して見学・面談を行い、参加してもらっている。

東谷委員：参加するのは毎回決まった人か。それとも、別の人か。

担当課：現在、毎週火曜日・金曜日1回45分で開催しており、参加するかたに対しては同じ曜日に参加してもらっている。

東谷委員：年間トータルの回数はどれくらいになるのか。

担当課：年間100回程度の予定で行っている。

【1-1-2.①結婚・妊娠・出産の希望を叶えるための支援】

担当課：＜「①不妊・不育症治療助成制度の周知・啓発」について説明＞

服部委員：1人あたりの助成額や条件等はどうなっているのか。

担当課：不妊治療の一人当たりの助成上限額は7万円、不育治療の上限額は10万円である。

【1-1-2.②結婚・妊娠・出産の希望を叶えるための支援】

担当課：＜「②乳幼児健診受診の促進」について説明＞

辻本委員：受診率が100%となっていないが、この数%に当てはまる子どもたちに虐待等が起こる可能性もあるので、必ず確認してほしい。

担当課：この数値は実際に検診に訪れた人のパーセンテージであり、当日来ることができなかつたかたに対しては、自宅訪問や電話等で必ず現認を行うようにしている。

○こども未来課 ※録音データがないため簡略版

【1-1-1.③地域ぐるみの子育て支援】

担当課 : <「①情報交換拠点の充実」について説明>

辻本委員 : 事業費として4,540千円と計上されているが、内訳はどうなっているのか。

担当課 : 人件費がほとんどを占めている。

辻本委員 : 人数の推移はどのようになっているのか。

担当課 : 参加人数については、共働き家庭が増えていることにより減少傾向にある。

辻本委員 : 令和8年度の目標値として80%と設定されているが、令和3年度からずっと目標値を超え続けている。目標値の変更はしないのか。

担当課 : 目標値については、後期基本計画に変更する際に人数から満足度に変更した。それまで、アンケート等で満足度を計っていなかったので目標値を8割として設定した。

担当課 : <「②預かり保育事業の実施」について説明>

野田委員 : 1回の預かり時間はどのくらいか。また、どのような日に実施しているのか。

担当課 : 1回の預かり時間は2時間で、給食のある日にのみ実施している。

副委員長 : 共働きしている人が増加している中で、幼稚園に預けている人は減少しているのではないか。

担当課 : 共働きの人は保育園に預けているため、昼で活動が終了する幼稚園の園児数は減少傾向にある。

副委員長 : 保育を行う人員の確保や予算の拡充などはどうなっているのか。

担当課 : 加配保育が必要な子が増加傾向にあり、今後も人員・予算確保に努めていく。

副委員長 : 実績人数によって予算は変動するのか。

担当課 : 実態に応じて要求していく予定である。

副委員長 : 保育所で預かり保育や一時預かりはしているのか。

担当課 : 保育所では預かり保育ではなく、延長保育を実施している。また、一時預かりについては行っていないが、令和8年4月から開始する『こども誰でも通園制度』については町立第1保育所で行う予定である。

【1-1-1.④就学前児童への教育・保育カリキュラムの充実】

担当課 : <「①特色ある乳幼児教室の開催」について説明>

副委員長 : 様々な乳幼児教室を開催しているが、今後拡充の予定はあるのか。

担当課 : 現在は外遊び、体育指導研修を受講した保育士を配置して体育指導を実施しているが、予算が確保できれば、外部講師を招き体育指導を実施したいと考えている。

三宅委員 : 和太鼓を子どもたちの指導に取り入れたきっかけはなにか。

担当課 : 経緯は不明である。

【1-1-2.①結婚・妊娠・出産の希望を叶えるための支援】

担当課 : <「①出会い・結婚応援事業の実施」について説明>

辻本委員 : 上牧町独自の事業として実施されていると思うが、この事業により成婚したカップル

のうちどれくらいが上牧町在住か。

担当課 : 今まで成婚したカップルのうち、3組のカップルが在住であったが、最近1組が転出し現在2組である。

副委員長 : 奈良県内の他市町村でも同じように結婚応援事業を行っている自治体があるが、広域連携など横のつながりはあるのか。

担当課 : 令和7年度に三郷町と合同でイベントを開催した。好評だったので、今後も継続して開催したいと考えている。

副委員長 : この事業を通じて結婚したカップルに対して、上牧町に住むことによって何らかのお得なサービスを受けることができるようになるといった取組はどうか。

担当課 : 検討していきたい。

担当課 : <「②プレパパママ教室の開催」について説明>
特になし

【1-1-2.②子育ての希望を叶えるための支援】

担当課 : <「①子育て世代への訪問型個別支援の拡充」について説明>

委員 : 事業費の内訳はどうなっているのか。

担当課 : 赤ちゃんが誕生した記念品としてカタログギフトを送っているため、そのカタログギフト代とアンケートを郵送するための郵送料と事務用品代が含まれている。また令和6年度については、赤ちゃん訪問の際に使用している体重計が壊れたため、体重計の修繕費も入っている。

担当課 : <「②子育て支援の充実」について説明>

服部委員 : 説明の中で講師に来ていただいたとあったが、報酬は発生していないのか。

担当課 : 講師の報酬についてはボランティアで来ていただいたので、発生していない。

【4-4-1.②子育てしながら安心して働ける環境の整備】

担当課 : <「①子育てと就労支援の両立支援」について説明>

委員長 : 全国各地で待機児童が問題となっているが、上牧町では学童での待機児童は発生しているのか。運営の基準は満たしているのか。

担当課 : 待機児童については学童保育所では発生しておらず、運営基準についても国の基準を満たしている。

○総務課

【2-2-2.①公共交通の利便性向上】

担当課 : <「①コミュニティバスの利用促進」について説明>

辻本委員 : 本文中に「駅への乗り入れや…」とあるが、奈良交通の路線と被っている所なら厳しいと思うが、被っていない路線については検討はされているのか。

担当課 : 上牧町のコミュニティバスの考え方として、町内にあるバス停留所を回るものという

認識であり、町外への運行については今後開催される地域公共交通協議会でデマンドタクシーもしくはコミュニティバスのどちらで行くのかは検討していきたいと考えている。

東谷委員：利用者数は増加傾向にあるが、乗車率はどのようになっているのか。

担当課：乗車率はデータとして取っていない。

東谷委員：乗車率を把握しないと必要のない時間にバスを走らせていることなど、実際の利用状況等が分からないと思うので、把握に努めてほしい。また、先ほど話に出ていたデマンド交通の件だが、そのような施策を進める前に既存のコミュニティバスをなぜ畠田駅などの最寄り駅につなげようという話にならないのか。上牧町は、駅もない・国道もないという町なので、せめてそういったことを考えてほしい。

担当課：乗車率については把握できていないが、どのバス停で何人が乗降したなどの記録は取り、乗車状況については把握している。その中で、乗降者が少ないバス停があるのも事実である。また、逆に乗降客数が多く、追加のバスが必要となっている所もある。コミュニティバスの駅の乗り入れについては、タクシー会社等も含めた地域公共交通協議会で協議していかなければならないと地域公共交通担当課からは聞いている。今いただいた意見については、地域公共交通担当課にも伝え、協議に臨んでもらえるようにする。

【3-3-1①. 公共施設の相互利用】

担当課：<「①公共施設広域連携検討会の開催」について説明>

辻本委員：上牧町にある施設の上牧町民の利用について、優先等は設けられているのか。

担当課：上牧町民が優先的に予約できるようになっており、上牧町の町民体育館については、上牧町民は利用日の1か月前から予約できるのに対し、上牧町以外のかたは利用日の15日前から予約可能となっている。

辻本委員：広報等はどうなっているのか。

担当課：それぞれの市町の広報やホームページに詳細を記載している。

【3-3-2②. 防災・防犯活動の支援・促進】

担当課：<「①防災訓練の実施及び近隣自治体との広域連携」について説明>

大西委員：広域連携とあるが、具体的にはどのようなものなのか。また、KPIに検討会議の開催回数とあるが1度も開催されていない。本当に必要なものなのかどうか確認したい。

担当課：具体的には、各町で行っている防災訓練を、地域を超えた避難訓練等を行う防災訓練にすることができないかと想定している。会議については、検討会議というレベルには至っていないが担当者同士による会議内では話題に出ている。

大西委員：住民に対しては、もっと具体的に広域連携の例を示さないと分からないと思うので、具体的に示すことができるようにしておいてほしい。

辻本委員：防災訓練の実施支援とあるが、具体的にどのようなことを行っているのか。

担当課：水消火器の貸出や防災パネルの貸出を行っている。

委員長：事業費については「予算計上なし」となっているが、補助金を支給しているのであれ

ばその金額を事業費として記載すべきでないか。

担当課 : 承知した。

担当課 : <「②子どもの防災意識の向上」について説明>
特になし

担当課 : <「③防犯活動の支援」について説明>

副委員長 : 現在多くの防犯カメラを町内に設置しているとのことだが、メンテナンス費用等の用途は立っているのか。

担当課 : 補修・修繕等は随時する予定である。また、設置から年数が経過したものについては、まとめて更新を行いたいと考えている。

副委員長 : 設置については、自治会等から様々な意見が出ていると思うが、何か目標は立てているのか。

担当課 : 防犯カメラの設置箇所については、もちろん要望等もいただいているが、あくまでも町内の主要な交差点や通学路等に絞って設置を行っている。新規設置については、令和7年度で一旦終了し、更新にシフトしていく予定である。

<全体的な意見等について>

東谷委員 : 年明けに上牧町の様々な財政指標が重症傾向にあるという内容が県から発表されたが、これから借金の返済が始まっていく中で、様々な事業を行うべきか事業費の観点を重視して整理していく必要があるのではないかと思う。また、評価をAやBをつけている事業についても、事業費を少しでも安価にするなど、検討を重ねて効率よく事業を進めてほしい。

3 その他

提言書の作成や答申のスケジュールについて連絡。

4 閉会

以上